

東洋大学附属牛久中学校

平成三十一年度

第二回一般入学試験 問題

検査問題Ⅰ（国語）

注意

- 1 試験時間は五十分です。
- 2 問題は大問二問でできており、七ページあります。
- 3 この問題冊子に抜け落ちて^ぬいるページや印刷不鮮明^{ふせんめい}の箇所、解答用紙の汚れ^{よご}などがあれば、試験監督^{かんとうく}に申し出てください。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入してください。
- 5 試験開始の合図があつてから始めてください。

【2】次の問題に答えなさい。

問1 次の各文の傍線部は、どこにかかる言葉ですか。例にならつて答えなさい。

例) きれいな 赤い 花が 咲いている。 答…花が

① 彼は とても 大きな 家に 住んでいる。

② 私は 昨日 父に プレゼントする ネクタイを 買った。

問2 次の各文について、文の内容を変えないで、() の指示に従ってそれぞれ文を書きかえなさい。

例) 父は 私たちを しかつた。(「私たち」を主語にして)

答え…私たちは 父に しかられた。

① 本は 好きだ。しかし、国語は 苦手だ。

(二文を一文にする)

② 社長は 週末に テニスを する。

(「社長」に敬意を示して)

問3 次の文章には、……部と——部のつながりが合っていない文

があります。文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

〈「私の好きな絵」〉

①これはミレーが描いた「落ち穂ひろい」という絵です。②この絵の特徴は、農村の貧しい人々の姿を描いています。また、『旧約聖書』に基づいた作品とされています。③私はこの作品が大好きです。④現在はパリの美術館がこの絵を所有しています。⑤私の夢はこの絵をパリに見に行くことです。

(1) ……部と——部とのつながりが合っていない文の番号を①～⑤までの中から一つ選び、番号で答えなさい。

(2) (1)で選んだ文について、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、正しく書き直しなさい。

【二】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権上の理由により本文は省略しています

(高田 宏 ひろし 「木のことば 森のことば」)

【注】

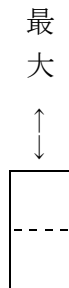
※1 さながら … そのまま。ありのまま。

問1 傍線部 a ～ e について次の問いに答えなさい。

(1) 傍線部 a「奇妙」、b「晩年」の読みを書きなさい。

(2) 傍線部 c ～ e のカタカナを、漢字一字と送りがない(ひらがな)に直しなさい。

問2 二重傍線部 A「最大」の対義語を書きなさい。



問3 二重傍線部 B「記念物」と同じ組み立ての三字熟語を次の中か

ら一つ選び、記号で答えなさい。

ア 松竹梅 イ 私所有地 ウ 新記録 エ 衣食住 3

問4 傍線部 1「まるで森のなかに工場ができたよう」に使われている表現技法を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 反復法 イ 擬人法 ぎじん ウ 比喩 ひゆ エ 擬音語 ぎおん

問5 傍線部 2「パイプや円盤ややぐらや支柱でこの木の保護をはかっていた」、3「コンクリートが詰められて」を端的に言い換えた言葉を本文中から五字で書き抜きなさい。

問6 空欄  X  Y  Z に入る語として最も適切なものを

を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。同じ記号は重ね

て使えません。

ア あっさり イ しよんぼり ウ すっかり

エ くつきり オ すくすく カ わくわく

キ はらはら

問7 空欄くうらん **★**に入れるのにふさわしい言葉を次の中から一つ選

び、文に合う形に変えて入れなさい。

大切だ	元気だ	静かだ	きれいだ
-----	-----	-----	------

問8 傍線部4「余計なお世話」の意味として、最も適切なものを次

の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 本来なら、不要であるさま

イ 有り余っていて、持て余すさま

ウ 計算ができなくて、迷惑なさま

エ 手数がかかって、やっかいなさま

問9 傍線部5「つつましい」の意味として、最も適切なものを次の

中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 控え目で物静かである

イ ぜいたくでない

ウ むだでない

エ もつたいない

問10 傍線部6「――この偉大な木に自然死を。と心からねがわず

にはいられますでした。」とありますが、なぜですか。本文中の

言葉を使い、解答欄に合うように二十五字以内で書きなさい。

＜下書き用マス目＞

	25				
	か				
	ら				
	。				
			20		

問11 本文中の表現に関する説明として正しいものを次の中から一つ

選び、記号で答えなさい。

ア 筆者はトチの木に起こった不幸な出来事と、自分自身の経験

を重ねて「悲しさ」を表現している。

イ 筆者は世界中の巨木とトチの木を比較しながら、トチの木の

偉大さを表現している。

ウ 筆者は倒置表現を多用することで、トチの木の奇妙な様子を

分かりやすく表現している。

エ 倒木や稚樹の様子を「――」や「……」などの記号を使って、

記号自体を木に見立てて表現している。

問12 本文の内容をふまえて後の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 傍線部7「倒木更新」を本文中の言葉を使って説明しなさい。
- (2) 「倒木」と「小さな木々」の関係について、あなたが思うところを百六十字以上二百字以内で書きなさい。また、書くときには次の《きまり》に従いなさい。

《きまり》

- ・ 氏名と題名は書きません。
- ・ 各段落の最初は一マス下げて書きます。
- ・ 「、」「や」「。」「もそれぞれ一文字に数えます。ただし、行の一番上のマス目に「、」「や」「。」「がきてしまうときは、前の行の最後のマス目に文字と一緒に記入してかまいません。
- ・ 文章の途中とちゅうで段落をかえたときの残りのマス目は、文字数として数えます。